令和７年度　地域包括支援センター活動方針及び活動目標

	運営方針	年度目標
福井明倫 包括支援センター	高齢者が住み慣れた地域で、共に助け合いながら、尊厳のあるその人らしい生活を継続できるよう、チームアプローチを実践し、地域包括ケアシステムの確立を目指す。	個別事例等を通し把握した課題を、地域課題として関係機関と共有し対応策を検討していく。 地域住民に対して、介護予防の啓蒙啓発・認知症に関する意識を高め、自助・互助に対する意識向上を図る。 専門職として連携・協働しながら、質の高いチームケア実践に努めて行く。
福井あたご 包括支援センター	地域の中核機関として、高齢者が住み慣れた地域で尊厳あるその人らしい生活を継続することができるよう、関係者や関係機関と連携・協働し、高齢者を地域全体で支えるような地域づくりに参画していく。	地域住民、関係機関、社会資源にアウトリーチし、ほやねっとあたごの周知、地域ネットワークの開発、連携強化を図っていく。 地域ケア会議の質の向上と活性化を図り、複合的な課題を抱える高齢者への支援体制を強化に取り組む。
福井中央北 包括支援センター	地域とつながりながら、笑顔で安心できる地域をめざします。	地域の変化を意識し、専門性の向上と多職種連携の力を高め、地域から信頼されるよう努めます。 地域と協働しながら、平時からのネットワークを構築し、災害に強い地域をめざします。
福井不死鳥 包括支援センター	高齢者が住み慣れた地域でその人らしい生活を続けることができるよう地域包括ケアシステムの構築に努め、地域課題の把握と解決を図る。 複合的、複雑化した相談にも対応し、適切な機関につなげることで高齢者や家族が孤独な思いをすること、孤立化することを防ぐ。	新体制になったこともあり改めて周知活動に取り組み、幅広い世代に包括を知ってもらうことで多岐に渡る相談に対応する。 迅速に事例対応を行い、対応漏れを防ぐ。また、必要に応じて他機関につなぐ。 虐待や支援困難事例の対応をおこない、成年後見制度も活用することで高齢者の権利を擁護する。 相談協力員との相談しやすい関係性を保ち、地域における高齢者やその家族に関する情報を取集する。更に連携を図ることで見守り体制を強化する。 介護予防や重度化防止のため、介護予防教室の開催や新たな取り組みの土台作りをおこなう。 地域の関係者と地域ケア会議を開催することで支援策の協議や地域課題の抽出につなげる。
福井あずま 包括支援センター	「地域住民の立場で考える」 高齢者が生きがいと尊厳を持ち、住み慣れた地域で暮らせるよう支援する。 専門性を活かし、職員相互が連携、協働しながら「チームアプローチ」を実践する。 公益的な機関として、公正で中立性の高い運営を行う。	住民が住み慣れた地域で暮らし続けていけるよう、地域の特性や課題を共有し、社会資源の連携体制を支えるネットワークの強化に取り組んでいく。 高齢者の状態やその変化に応じた医療や介護等の様々なサービスを切れ目なく提供できるように、医療機関や障害、介護保険等の関係機関や団体等とのネットワーク強化に取り組む。 介護支援専門員とサービス事業所が自立支援に基づいたケアを強化できるように働きかける。 認知症高齢者が安心して暮らせる地域となるよう、見守りや支える体制の構築に向け、認知症の理解と予防を推進する。
福井大東 包括支援センター	高齢者が住み慣れたわが町・わが家で安心・安全にその人らしい生活を継続できるように、各職員の専門性と能力・個性を活かし、地域住民・各関係機関・地域の社会資源とつながりながら、『チーム大東』として丁寧に包括的に支援する。	複合的な課題に対応できるよう、様々な関係機関とのネットワークの構築を図る。 住民にとってより身近で、親しみが持て、敷居を感じないで相談できる包括となるように、相談窓口を増やす、または現在の窓口を定着させる。さらに地域住民の欲しい情報をアセスメントし、発信していく。 相談支援職としてスキルアップを図るために、自己課題を克服するための研修受講や日々の OJT と定期的な振り返りを行う。
福井九頭竜 包括支援センター	積極的に地域に出向き、自助力・互助力を高める取り組みを通して、高齢者及びその家族が安心して暮らせる地域を目指す。	転入が多く地域の繋がりが希薄化した地区に対し未把握の高齢者の掘り起こし及び把握を行い、早期対応や地域作りにつなげる。 高齢者に限らず、あらゆる世代への周知活動に取り組む。
福井北 包括支援センター	地域も含めた自助・互助の意識の向上を図り、高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活の継続を目指す	住民・地域の関係機関が主体的に住みやすいやさしい街づくりの取り組みへの支援を強化する 自立支援に基づいたケアマネジメント力を強化
福井みなみ 包括支援センター	高齢者が住み慣れた地域で尊厳のあるその人らしい生活を継続することができるよう、チームアプローチを実践し、公益的な機関として公正で中立性の高い事業運営を行う。	総合相談に対して適切な対応ができるよう関係機関との連携を強化する 関係者と協力して地域での認知症に対する理解度や対応力の向上を図る 支援が必要な高齢者世帯等を早期に発見できるよう実態把握に取り組む
福井社 包括支援センター	まずは職員が地域包括ケアシステムの中核機関としての機能を十分に理解し、地域でその機能を発揮で出来るよう、地域住民、地域の関係機関、サービス事業者、医療機関等と連携を図りネットワークの構築に取り組むことで、高齢者が尊厳をもって住み慣れた地域でその人らしい生活を継続できる社会を目指します。	セルフケアを意識した介護予防教室を実施し住民の自助力に対する意識向上を目指す。 支援が必要な高齢者像をしっかりと捉え、また、複合的課題を有するケースなどへも十分に対応できるよう、関係機関とのネットワーク作りや連携を強化する。 全職員が包括支援センターの役割を理解し、自己研鑽に励み、互いに連携・協働しながら質の高いチームケアを実践するケースの困難化を未然に防げるよう、実態把握を丁寧に行い早期対応やチームアプローチを実施します。
福井光 包括支援センター	地域の課題に対し、各種支援機関だけでなく地域全体も巻き込んで一体的に取り組む。	持続可能な地域のつながりをテーマに地域ケア推進会議を実施する。 自助・互助力を高めるため、地域によりそった包括の相談窓口として周知していく。
福井川西 包括支援センター	地域の関係機関や団体、サービス事業所等と連携、協力しながら、高齢者とその家族が健康で自立した生活が送れるよう地域のニーズに沿いながらサポートしていく	地域住民、各種団体、サービス事業所等と連携し災害に強い地域づくりを考えていく 認知症の理解がすすみ、住民が共にいきいきと暮らしやすい地域つくりをめざす 地域住民の健康意識を高め、自主的に介護予防や活動が行えるようサポートしていく 自立支援に基づいたケアマネジメント力を強化していく
福井東足羽 包括支援センター	主体的に活動している地域住民の方々、福祉団体、医療・介護支援機関等と共に、高齢になっても安心して暮らせる地域づくりに取り組みます。	高齢者の総合相談窓口として、様々な困りごとに対して適切な関係機関と連携した相談支援を行う。 地域住民の主体的な活動を支援し、介護予防の推進を図る。 圏域が抱える課題やニーズを地域住民や関係機関等と共有し、解決に向けた取り組みを行う。